

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [原発性胆汁性胆管炎\(PBC\)](#) | [TOP](#) | [原発性硬化性胆管炎\(PSC\)](#) >>

2020年07月14日

新型コロナウイルスの解剖例 微小血管の新生

新型コロナウイルスの解剖例 微小血管の新生

intussusceptive angiogenesisの見解
Pulmonary Vascular Endothelialitis, Thrombosis,
and Angiogenesis in Covid-19
n engl j med 383;2 nejm.org July 9, 2020

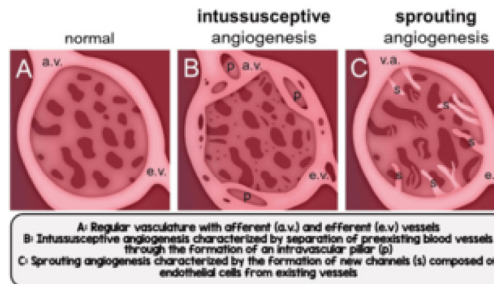


以前のブログでも剖検例を紹介しましたが、新型コロナウイルスにおける肺病変の特徴は、肺胞壁の破壊(DAD)とそれに続くヒyalin膜(hyaline membrane)の形成と器質化にあると記載しました。肺の細血管の血栓症はそれによる二次的な病変と捉えています。今回はアメリカからの新見解の報告です。新型コロナウイルスと以前にインフルエンザで亡くなった方のそれぞれ7例を肺疾患以外で亡くなった方と比較しています。

簡単にまとめてみました。

1) 新型コロナウイルスで死亡した7例、インフルエンザによるARDS(急性呼吸不全)で死亡した7例、肺移植ドナーの非感染性肺組織を年齢補正して、組織病理、免疫化学染色、電子顕微鏡、血管鑄型による走査顕微鏡、遺伝子発現解析を行い解析しています。

- 2) 結論
- ・インフルエンザ群は間質浮腫があり他の群と比較して重量が多い。
 - ・新型コロナウイルス群とインフルエンザ群では従来の報告のようにDAD関連の病変が認められた。
 - ・新型コロナウイルスが侵入する時に関係するACE-2は、肺胞上皮細胞と血管内皮細胞に新型コロナウイルス群とインフルエンザ群に認められたが、コントロール群には稀であった。
 - ・炎症関連遺伝子(血管新生関連遺伝子)を調べると新型コロナウイルス群とインフルエンザ群では共通の部分もあるが、新型コロナウイルス群特有の遺伝子も明らかになった。
 - ・肺血管の血栓は新型コロナウイルス群とインフルエンザ群ともに認められたが、肺胞における毛細血管の微小血栓数は、新型コロナウイルス群の方がインフルエンザ群の9倍多かった。
 - ・肺の微小血管を精査すると新型コロナウイルス群の特徴は血管新生である。(angiogenesis) それには2つの要素があり一つは発芽(sprouting)と嵌入(intussusception)である。発芽は内皮細胞が血管のない部分に伸びている所見で、嵌入は拡張した血管腔に隔壁が生じて複数の血管に分離する所見です。



(上のイラストはNEJMにはありません。オリジナルから削除され様ですが筆者の思いが伝わると考え掲載します。)

嵌入性血管新生は新型コロナウイルス群はインフルエンザ群の2.7倍でしかも入院期間が長いほど程度は増加していた。発芽性血管新生も新型コロナウイルス群の方がインフルエンザ群より多い傾向でした。

<< 2020年08月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

最近の記事

- (08/03) [新型コロナウイルスの臨床症状・スマホからの回答](#)
- (07/31) [新型コロナウイルスの抗体は早期に減退?](#)
- (07/29) [インフルエンザ治療薬のゾフルーザの予防効果](#)
- (07/29) [入院における新型コロナウイルスに対するデキサメタゾンの効果](#)
- (07/29) [新型コロナウイルスの家庭内感染・韓国からの報告](#)

最近のコメント

- [新型コロナウイルスの臨床症状・スマホからの回答](#) by (08/05)
- [新型コロナウイルスの臨床症状・スマホからの回答](#) by (08/05)
- [入院における新型コロナウイルスに対するデキサメタゾンの効果](#) by (07/29)
- [5歳以下の小児の情報教育にベットの有効性](#) by (07/25)
- [新型コロナウイルスの解剖例 微小血管の新生](#) by (07/22)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#)(194)
- [循環器](#)(202)
- [消化器・PPI](#)(125)
- [感染症・衛生](#)(133)
- [糖尿病](#)(111)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(84)
- [インフルエンザ](#)(100)
- [肝臓・肝炎](#)(60)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(45)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(40)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(30)
- [ワクチン](#)(32)

- [癌関係](#)(10)
- [脂質異常](#)(28)
- [甲状腺・副甲状腺](#)(18)
- [婦人科](#)(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(32)
- [熱中症](#)(7)
- [日記](#)(17)
- [その他](#)(66)

過去ログ

- [2020年08月](#)(1)
- [2020年07月](#)(17)
- [2020年06月](#)(14)
- [2020年05月](#)(21)
- [2020年04月](#)(18)
- [2020年03月](#)(18)
- [2020年02月](#)(18)
- [2020年01月](#)(19)
- [2019年12月](#)(14)
- [2019年11月](#)(15)
- [2019年10月](#)(18)
- [2019年09月](#)(18)
- [2019年08月](#)(14)
- [2019年07月](#)(14)
- [2019年06月](#)(16)
- [2019年05月](#)(14)
- [2019年04月](#)(18)
- [2019年03月](#)(19)
- [2019年02月](#)(19)
- [2019年01月](#)(15)
- [2018年12月](#)(16)
- [2018年11月](#)(20)
- [2018年10月](#)(20)
- [2018年09月](#)(18)
- [2018年08月](#)(24)
- [2018年07月](#)(18)
- [2018年06月](#)(18)
- [2018年05月](#)(20)
- [2018年04月](#)(19)
- [2018年03月](#)(20)
- [2018年02月](#)(14)
- [2018年01月](#)(14)
- [2017年12月](#)(20)
- [2017年11月](#)(17)
- [2017年10月](#)(22)
- [2017年09月](#)(18)
- [2017年08月](#)(20)
- [2017年07月](#)(23)
- [2017年06月](#)(19)
- [2017年05月](#)(19)
- [2017年04月](#)(22)
- [2017年03月](#)(20)
- [2017年02月](#)(18)
- [2017年01月](#)(21)
- [2016年12月](#)(17)
- [2016年11月](#)(25)
- [2016年10月](#)(22)
- [2016年09月](#)(21)
- [2016年08月](#)(20)
- [2016年07月](#)(26)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

・血管内皮細胞内に新型コロナウイルスが存在する事はウイルスの直接的な障害を推測されます。

これらのことから以下が新型コロナの特徴となります。

- ①細胞内のコロナウイルスが直接作用した内皮細胞障害と内皮細胞間の断絶
- ②肺胞の毛細血管の微小血栓
- ③嵌入性血管新生

私見)

詳細には下記のPDFの図で説明します。
 私のインプレッションを述べますと、ACE-2はウイルスの侵入の場合にも関与しますが、肺においては炎症を抑えるために戦っている援軍と思われます。ただし過剰に反応しているかもしれません。
 また、新型コロナはインフルエンザの場合のARDSと異なり新型コロナウイルスが直接的に血管内皮細胞に潜り込んで、特異的な血管新生を起こす不気味な存在です。
 その反応は、遺伝子学的に血管新生関連に関係しています。
 この遺伝子発現は従来からあるものなのか(ファクターX)または疾患により発現したものかは門外漢にはわかりません。
 とまかく、本論文のために費やされた決死の努力には町医者の方でも感動します。

[新型コロナの血管新生1.pdf](#)

0

0

いいね!

ブックマーク

【感染症・衛生の最新記事】

- [新型コロナの臨床症状・スマホからの回答](#)
- [新型コロナの抗体は早期に減退？](#)
- [入院における新型コロナに対するデキサメタゾン](#)
- [新型コロナの家庭内感染・韓国からの報告](#)
- [新型コロナの重症化の予測ツール](#)

posted by 齋賀一 at 11:42 | [Comment\(1\)](#) | [感染症・衛生](#)

この記事へのコメント

今日22日、国内二例目の新型コロナ治療薬承認薬のニュースを知りました。その薬は、デキサメタゾン。デカドロンの薬名で私の記憶にあった薬で、いわゆる副腎皮質ホルモン剤です。この類の薬・例えばプレドニン、リンデロンなどを服用している場合は、感染症に気をつけなさいと良くお医者様に言われたものです。今回、感染症である新型コロナウイルス治療薬にこの薬を服用？点滴？、どういふうに使用するか、医学の知識が乏しい私は分りませんが、感染症に罹患している患者に敢えて使用する??悪化しないのという率直な疑問が浮かびました。でも、承認になったんですよ。薬の効用は不思議ですね。

Posted by at 2020年07月22日 18:30

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

確認する書き込む

